

共 通				機 械					
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
共通-001	図面リスト	M-01	機械設備工事特記仕様書(1) NS	M-10-1	(給排水設備)撤去機器リスト NS				
		M-02	機械設備工事特記仕様書(2) NS	M-10-2	(給排水設備)地階平面図(既存図) 1/100				
		M-03	機械設備工事特記仕様書(2) NS	M-10-3	(給排水設備)1階平面図(既存図) 1/100				
		M-04-1	配置図・案内図 1/300	M-10-4	(給排水設備)2階平面図(既存図) 1/100				
		M-04-2	凡例 NS	M-10-5	(給排水設備)3階平面図(既存図) 1/100				
		M-05	給排水系統図 NS	M-10-6	(給排水設備)4階平面図(既存図) 1/100				
		M-06-1	(衛生設備)機器リスト(改修) NS	M-11-1	(空調設備)撤去機器リスト1 NS				
		M-06-2	(給排水設備)地階平面図(改修図) 1/100	M-11-2	(空調設備)撤去機器リスト2 NS				
		M-06-3	(給排水設備)1階平面図(改修図) 1/100	M-11-3	(空調設備)地階平面図(既存図) 1/100				
		M-06-4	(給排水設備)2階平面図(改修図) 1/100	M-11-4	(空調設備)1階平面図(既存図) 1/100				
		M-06-5	(給排水設備)3階平面図(改修図) 1/100	M-11-5	(空調設備)2階平面図(既存図) 1/100				
		M-06-6	(給排水設備)4階平面図(改修図) 1/100	M-11-6	(空調設備)3階平面図(既存図) 1/100				
		M-06-7	(給排水設備)1階便所平面詳細図(改修図) 1/50	M-11-7	(空調設備)R階平面図(既存図) 1/100				
		M-06-8	(給排水設備)2階便所平面詳細図(改修図) 1/50	M-12-1	(換気設備)撤去機器リスト NS				
		M-06-9	(給排水設備)3階便所平面詳細図(改修図) 1/50	M-12-2	(換気設備)地階平面図(既存図) 1/100				
		M-06-10	(給排水設備)1階厨房平面詳細図(改修図) 1/50	M-12-3	(換気設備)1階平面図(既存図) 1/100				
		M-07-1	(空調設備)改修機器リスト1 NS	M-12-4	(換気設備)2階平面図(既存図) 1/100				
		M-07-2	(空調設備)改修機器リスト2 NS	M-12-5	(換気設備)3階平面図(既存図) 1/100				
		M-07-3	(空調設備)地階平面図(改修図) 1/100	M-12-6	(換気設備)4階平面図(既存図) 1/100				
		M-07-4	(空調設備)1階平面図(改修図) 1/100						
		M-07-5	(空調設備)2階平面図(改修図) 1/100						
		M-07-6	(空調設備)3階平面図(改修図) 1/100						
		M-07-7	(空調設備)R階平面図(改修図) 1/100						
		M-08-1	(換気設備)改修機器リスト 1/100						
		M-08-2	(換気設備)地階平面図(改修図) 1/100						
		M-08-3	(換気設備)1階平面図(改修図) 1/100						
		M-08-4	(換気設備)2階平面図(改修図) 1/100						
		M-08-5	(換気設備)3階平面図(改修図) 1/100						
		M-08-6	(換気設備)3階プラネタリウム機械室(改修図) 1/100						
		M-08-7	(換気設備)3階ホール機械室機械室(改修図) 1/100						
		M-08-8	(換気設備)4階平面図(改修図) 1/100						
		M-09-1	(計装設備)地階平面図(改修図) 1/100						
		M-09-2	(計装設備)1階平面図(改修図) 1/50						
		M-09-3	(計装設備)2階平面図(改修図) 1/50						
		M-09-4	(計装設備)3階平面図(改修図) 1/50						
		M-09-5	(計装設備)4階平面図(改修図) 1/50						

	<p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（(一財)日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>⑬ 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>⑫ 擬音装置</p> <p>○女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ○男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・バリアフリートイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要ことは別途衛生設備器具表による。</p>	<p>② 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>③ 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用 別紙樹表による。</p>																																																													
<p>● 空気調和設備</p> <p>① 設計温湿度</p> <table border="1" data-bbox="261 241 786 367"> <tr> <td></td> <td colspan="4">外 気</td> <td colspan="4">屋 内</td> </tr> <tr> <td></td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>37.1℃</td> <td>47.1%</td> <td>28℃</td> <td>9%</td> <td>26℃</td> <td>60%</td> <td>26℃</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.5℃</td> <td>49.4%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。</p> <p>② 総合試運転調整</p> <p>※本工事 ・別途</p> <p>風量調整 ○する ・しない 水量調整 ○する ※しない 騒音の測定 ○する ※しない</p> <p>室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ○する ※しない</p> <p>3 煙 道</p> <p>(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・設けない</p> <p>4 煙 突</p> <p>※別途 ・本工事</p> <p>⑤ 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法</p> <p>それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>⑥ 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・換気用耐火二層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>7 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>⑧ チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>⑨ 吹出口及び吸込口ボックス</p> <p>※亜鉛鉄板製 ・ガラスウール製</p> <p>10 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>⑪ 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上)</p> <p>(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (EPOXACT[®] レンパ イ[®] 相当品) ・耐火二層管VP (FDPS-1) ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。)</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給水管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ 遠 送 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・</p> <p>⑫ 弁 類</p> <p>規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。</p> <p>⑬ 温 度 計</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空調機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空調機のサプライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>14 圧 力 計</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空調機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>15 瞬間流量計</p> <p>瞬間流量計はビトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・ 個) 付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。 ・空調機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。</p> <p>16 油圧制御装置</p> <p>※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・着脱形) を設ける。制御盤には (※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。</p> <p>17 冷却塔</p> <p>※直交流式 ・向流型 ※レゾナール腐菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続部分に清掃用の水栓を設け設置する。</p>		外 気				屋 内					温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	37.1℃	47.1%	28℃	9%	26℃	60%	26℃	60%	冬 期	0.5℃	49.4%	20℃	9%	20℃	9%	20℃	9%	<p>● 換気設備</p> <p>① 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 ・アングルフランジ工法</p> <p>それ以外の部分 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>② 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・耐火二層換気管又は耐火VP ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>③ 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>④ チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (VU) (防火区画直通箇所は換気用耐火二層管) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける</p> <p>⑦ 保 温</p> <p>下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠へい部ダクト 仕様はN・(口) ・X1とする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・湯沸室 ・) 用の隠蔽へい部ダクト (仕様はh・(イ) ・区とし範囲は図示による)</p> <p>風量調整 ○する ・しない 風量測定 ○する ・しない 騒音の測定 ○する ・しない</p> <p>○ 排煙設備</p> <p>1 ダクト</p> <p>※亜鉛鉄板 ・</p> <p>2 排煙口の形式</p> <p>※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形)</p> <p>3 排煙口手動開放装置</p> <p>開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要)</p> <p>4 排煙風量測定</p> <p>建築設備定期検査業務基準書 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。</p> <p>○ 自動制御</p> <p>1 中央監視制御装置</p> <p>・有り ※無し</p> <p>2 構成・機能</p> <p>図示による</p> <p>3 電気計装用機材</p> <p>使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。天井内隠へい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>① 小便器用節水装置</p> <p>JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。</p> <p>② バリアフリー対応</p> <p>○小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり (・本工事 ※別途工事) ・洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部) ・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式 ※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800 (耐食鏡) ・傾斜鏡 (・照明無 ・照明付)</p> <p>③ 衛生器具付属水栓</p> <p>(1) 器具付属止水水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。</p> <p>④ 自動水栓類の電源</p> <p>※AC100V ・乾電池等 ・自己発電</p> <p>⑤ 暖房便座</p> <p>(1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・AC100V ・乾電池等 ※自己発電</p> <p>器具表又は下記の場合を除き、※節水I型 ・節水II型とする。 洗浄弁操作方式は、※手動式 ・電気開閉式 (※センサー式 ・タッチスイッチ式) ・上層層で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p> <p>⑥ 大便器洗浄弁・洗浄用タンク</p> <p>器具表又は下記の場合を除き、※節水I型 ・節水II型とする。 洗浄弁操作方式は、※手動式 ・電気開閉式 (※センサー式 ・タッチスイッチ式) ・上層層で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p> <p>⑦ 大便器耐火カバー</p> <p>※設ける (ピット内は除く) ○設けない</p> <p>⑧ 掃除流し</p> <p>○共栓なしとする。 ・共栓付とする。</p> <p>9 排水器具用ゴム継手</p> <p>※使用できる ・使用できない</p> <p>10 標 記 板</p> <p>大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。</p> <p>11 水せつけん入れ</p> <p>せつけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗いに設ける。</p>	<p>● 給水設備</p> <p>① 配管材料</p> <p>配管材料は、※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1" data-bbox="1484 241 2181 735"> <tr> <td></td> <td>施 工 箇 所</td> <td>管 種 別</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">上水配管</td> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管)</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部 地中埋設部 (水道直結部分)</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中水配管</td> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">排水配管</td> <td>保温をしない屋外露出部 地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管 その他の部分</td> <td>※ポリブテン管 ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>※SUSとは、JIS G 3448 またはJWWA G 115に規定するステンレス鋼管と一般部 (・圧縮 ・ゲブル[®]レス ※拡管) 便所・廊下しりり露出配管 (※拡管) とする。</p> <p>2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。 7. 地中埋設部 (水道直結部分) は水道事業者の指示による。</p> <p>2 一体形タンク</p> <p>一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>3 水 栓</p> <p>※給湯用水栓を除き大きめの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマとする。</p> <p>4 量 水 器</p> <p>※親メーター (※賞与品 ・) ・子メーター (※買取り ・)</p> <p>5 量水器樹</p> <p>※水道事業者指定品 ・標準図MC形</p> <p>6 弁 類</p> <p>規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>・防寒コンクリート水栓柱 (120OL) ※不凍給水栓</p> <p>8 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>9 検針方法</p> <p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。</p> <p>11 本管取出し</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p>		施 工 箇 所	管 種 別	上水配管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部 地中埋設部 (水道直結部分)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・	中水配管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	排水配管	保温をしない屋外露出部 地中埋設部 (一般部分)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管 その他の部分	※ポリブテン管 ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	<p>● 消火設備</p> <p>① 配管材料</p> <p>屋内消火栓用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP ・高密度ポリエチレン管 (消火用) 消火用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP ・高密度ポリエチレン管 (消火用) 不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・STPG370 (白) Sch80</p> <p>2 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>● 給水設備</p> <p>① 配管材料</p> <p>・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆銅管 ・SGP (白) 地中埋設 ※PE管</p> <p>2 ガス漏れ警報遮断装置</p> <p>漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給権</p> <p>ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p> <p>● 厨房設備</p> <p>① 厨房機器の固定</p> <p>原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。</p> <p>② シンク用水栓</p> <p>※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓</p> <p>③ 安全装置の機能の適用</p> <p>標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。</p> <p>舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書</p> <p>第1条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に関し必要な事項を定めるものである。</p> <p>第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) ・ m3 ・中間処理施設 市 地内、(株) ・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は熔融含まず) ・中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は熔融を含む)</p> <p>2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。</p> <p>2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。</p> <p>第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。 第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。 3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>						
	外 気				屋 内																																																												
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																									
夏 期	37.1℃	47.1%	28℃	9%	26℃	60%	26℃	60%																																																									
冬 期	0.5℃	49.4%	20℃	9%	20℃	9%	20℃	9%																																																									
	施 工 箇 所	管 種 別																																																															
上水配管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管																																																															
	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																															
	保温をしない屋外露出部 地中埋設部 (水道直結部分)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・																																																															
中水配管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																															
	湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																															
排水配管	保温をしない屋外露出部 地中埋設部 (一般部分)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・																																																															
	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																															
	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																															
	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管 その他の部分	※ポリブテン管 ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																															
	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																															

<p>株式会社 大誠建築設計事務所</p> <p>一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (4) 第9615号 代表取締役 一級建築士 小林 弘 幸</p>	<p>日付</p> <p>◇</p> <p>◇</p> <p>◇</p> <p>◇</p>	<p>記事</p>	<p>承認</p>	<p>照査</p>	<p>設計</p>	<p>設計年月日</p>	<p>件名 中央公民館・コミュニティセンター長寿命化改修工事</p> <p>図面名 機械設備工事特記仕様書 (2)</p>	<p>縮尺 A1 - M-02 A3 -</p> <p>一級建築士 第193004号 大形 一朗</p>
---	---	-----------	-----------	-----------	-----------	--------------	---	--

① アスベスト処理工事一般共通事項

留意事項

1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。

2 アスベスト処理を所管する行政の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。

3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)(以下「改修仕様」という)及び「建築物等の解体に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」(令和3年3月 厚生労働省・環境省)による。

② アスベスト含有分析調査

分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1]

・ 行う(下表による)

材 料 名	調査方法(1材料あたりの試料数:3サンプル)
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示

分析対象

※ アスベスト 6 種類(アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクテノライト、アンソフィライト、トレモライト)

調査方法・分析方法

※ JIS A 1481 規格群(1481-1, 2, 3, 4)「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。分析結果については、監督員に提出すること。

③ アスベスト粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1]

・ 行う(測定名称及び測定点は下表による)

測定箇所 ※ 図示

通 用			測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業区ごと)	備考
レベル1	レベル2	レベル3					
○	○	・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	※各1点 ・ 各3点	
○	○	○	測定 2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	○	・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	各1点	
○	・	・	測定 4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認
○	・	・	測定 5	処理作業中	負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置の性能確認
○	○	○	測定 6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	作業中は週1回測定
○	○	○	測定 7	処理作業後(隔離シート除去前)	処理作業室内	各2点(レベル3は1点)	
○	○	○	測定 8	処理作業後(シート除去後1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	・	測定 9	処理作業後(シート除去後1週間以降)	処理作業室内	各2点(レベル3は1点)	
・	・	○	測定 10	処理作業後(シート除去後1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部:光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

計数機器	位相差・分散顕微鏡	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5
マンプレフィルタの直径	25 mm			47 mm
試料の吸引流量	1 l/min		10 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min		120 min	240 min
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法			
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野			
計数アスベスト	直径(幅) 3µm 未満、長さ 5µm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質			
定量限界	50 f/l	0.5 f/l		0.3 f/l

報告書の作成(記録する項目)

ア 測定結果

イ 測定時間

ウ 測定位置(測定高さとともに図面上に記載)

エ サンプリング条件(マンプレフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)

オ マウンティング方法

カ 顕微鏡視野面積、計数視野数

キ 測定時(各測定場所ごと)の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

4 アスベスト含有吹付け材の撤去(レベル1)

アスベスト含有吹付け材の除去 [9.1.3]

・ 行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等

処理方法

※密封処理(二重袋梱包)

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん捕集フィルタについても密封処理を行う。

・セメント固化

処理を行う吹付けアスベストの仕様

材 料 名	厚さ(mm)	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

5 アスベスト含有保温材等の撤去(レベル2)

アスベスト含有保温材の除去 [9.1.4]

○行う

作業上の隔離

○行う

・行わない

処理を行う保温材等アスベストの仕様

材 料 名	厚さ(mm)	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

6 アスベスト含有成形板類の撤去(レベル3)

1 アスベスト含有成形板の除去 [9.1.5]

・ 行う

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材 料 名(製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・		※ 図示 ・

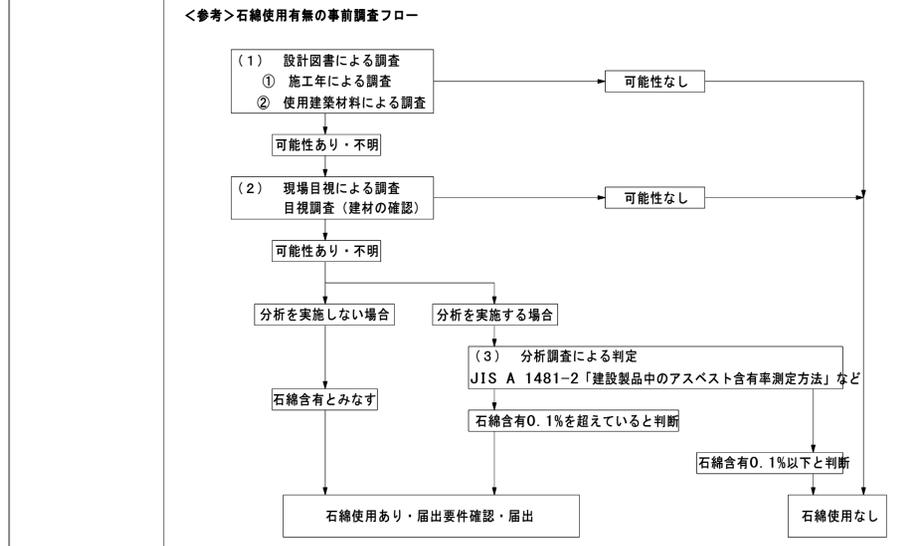
2 非石綿部での切断による除去

・ 行う

処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・設備機器ダクト接合部(石綿含有パッキン組込)		※ 図示 ○撤去範囲すべて
・石綿含有保温材付配管		※ 図示 ○撤去範囲すべて
・石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ○撤去範囲すべて
		※ 図示 ・

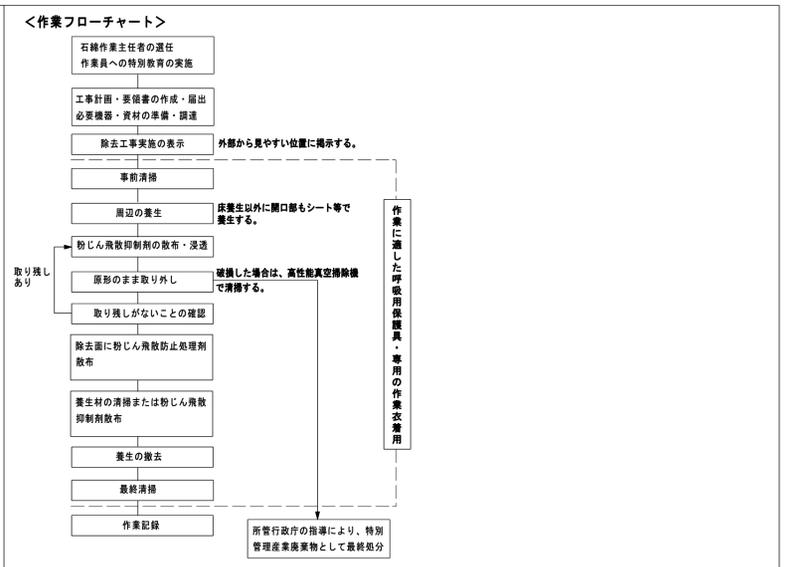
※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。



<参考>非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー

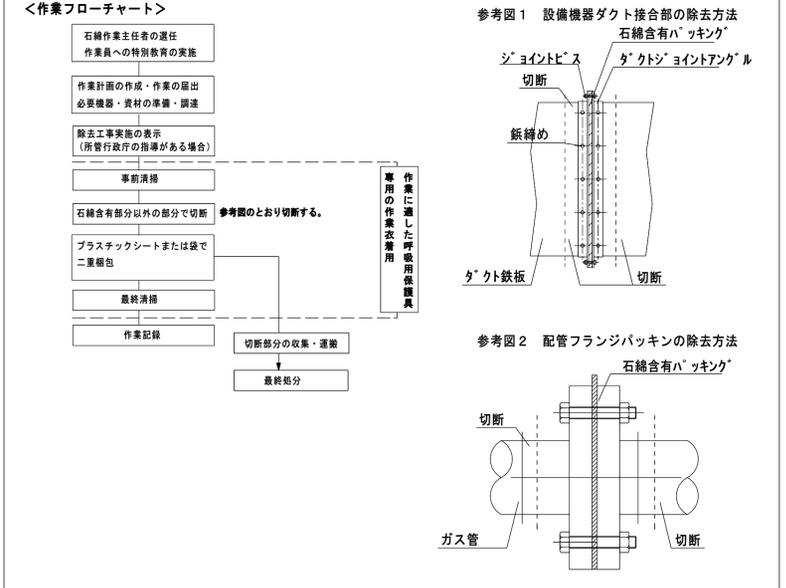
1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去(レベル2)

成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生(負圧不要)、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化し石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹付け材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。



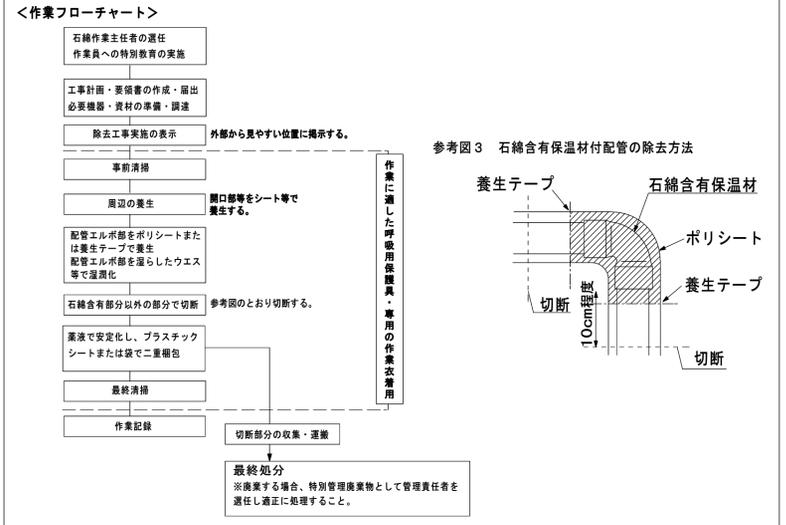
2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】(レベル3)

建築物のダクトには、接合部に石綿含有物を使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

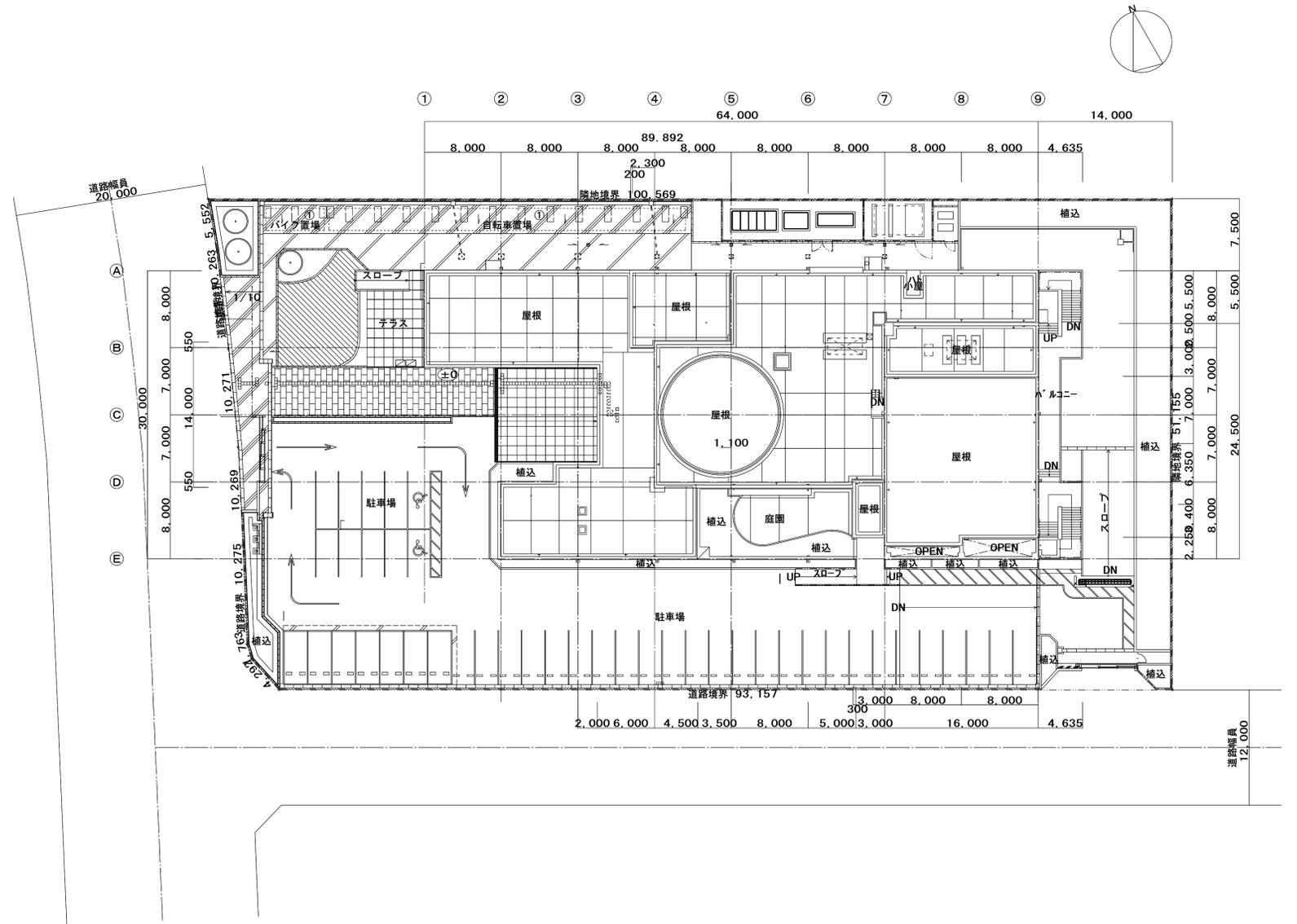


3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】(レベル2)

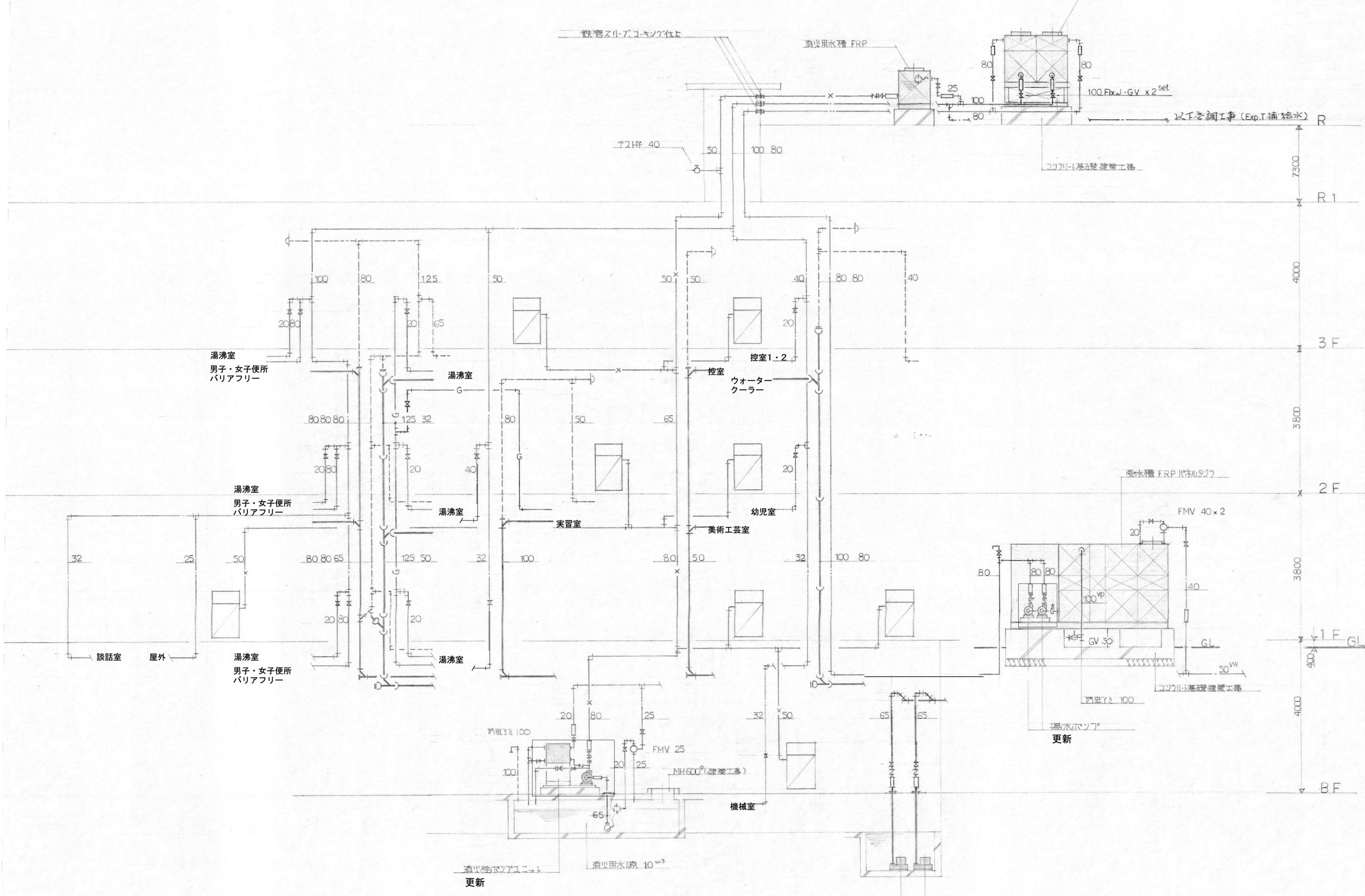
直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。



朝霞中央公民館・コミュニティセンター 朝霞市青葉台1-7-1



 株式会社大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (4) 第9615号 代表取締役 一級建築士 小林 弘 幸	日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名 中央公民館・コミュニティセンター長寿命化改修工事 図面名 案内図・配置図	縮尺	A1 1/300 A3 1/600	M-04-1
								案内図・配置図	一級建築士 第193004号 大形 一朗	



株式会社大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第984号 代表取締役 小林弘幸	日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名 中央公民館・コミュニティセンター長寿化改修工事 縮尺 A1: N.S. M-05 A3: N.S. 図面名 給排水系統図 一級建築士 第193004号 大形 一朗

給排水衛生設備 器具表

器具名称	仕 様	参考品番 (LIXIL)	摘 要	室名																	
				1F				2F				3F									
				男子 便所	女子 便所	バリア フリー トイレ	湯 沸室	廊 下	事 務室	談 話室 便所	男子 便所	女子 便所	バリア フリー トイレ	湯 沸室	美 術工 芸室	男子 便所	女子 便所	バリア フリー トイレ	湯 沸室	ホ ール 控室	ホ ール 控室 便所
洋風便器	床置洋風大便器、洗浄弁、タッチスイッチ	CP25S								1	2	3	1			3	5	1			1
	付属品、暖房洗浄便座（貯湯式）、擬音装置、その他標準付属品	CW-PA21-NE																			
洋風便器			取外し再取付	2	3																
洋風便器			既存のまま			1															
大便器用手すり	L形手すり	樹脂被覆 KF-926AE80D25J		1	1					1	1					1	1				
オストメイト			既存のまま			1															
紙巻器	ステンレス製			2	3					1	2	3				3	5	1			1
小便器	壁掛型、低リップ、AC-100V	U-51MP								4						5					
小便器			取外し再取付	4																	
小便器用手すり		KF-H701AEJ		1						1						1					
自動水栓	自動水栓 (AC-100V)	AM-320TC	男子・女子便所洗面カウンター用	2						2						2					
掃除流し	床排水金具、リムカバー、取付器具、水栓共	S-202A								1								1			
掃除流し			取外し再取付	1																	
洗面器	床排水金具、取付器具、単水栓（手動）共	L-A955H2E							1												
給水栓	単水栓、取付器具共	LF-12Z-13													3						
レバー式水栓	単水栓、取付器具共	LF-E02	授乳室前洗面カウンター用						1												
化粧棚	ステンレス製、取付器具共	KF-88	授乳室前洗面カウンター用						2												
電気温水器	置台形・飲料用・20L 混合水栓共	EHPN-KWA20ECV1-S				1							1					1	2		
ウォータークーラー	センサー式 バリアフリータイプ	オアシス P8ACEE							1												

給水ポンプ

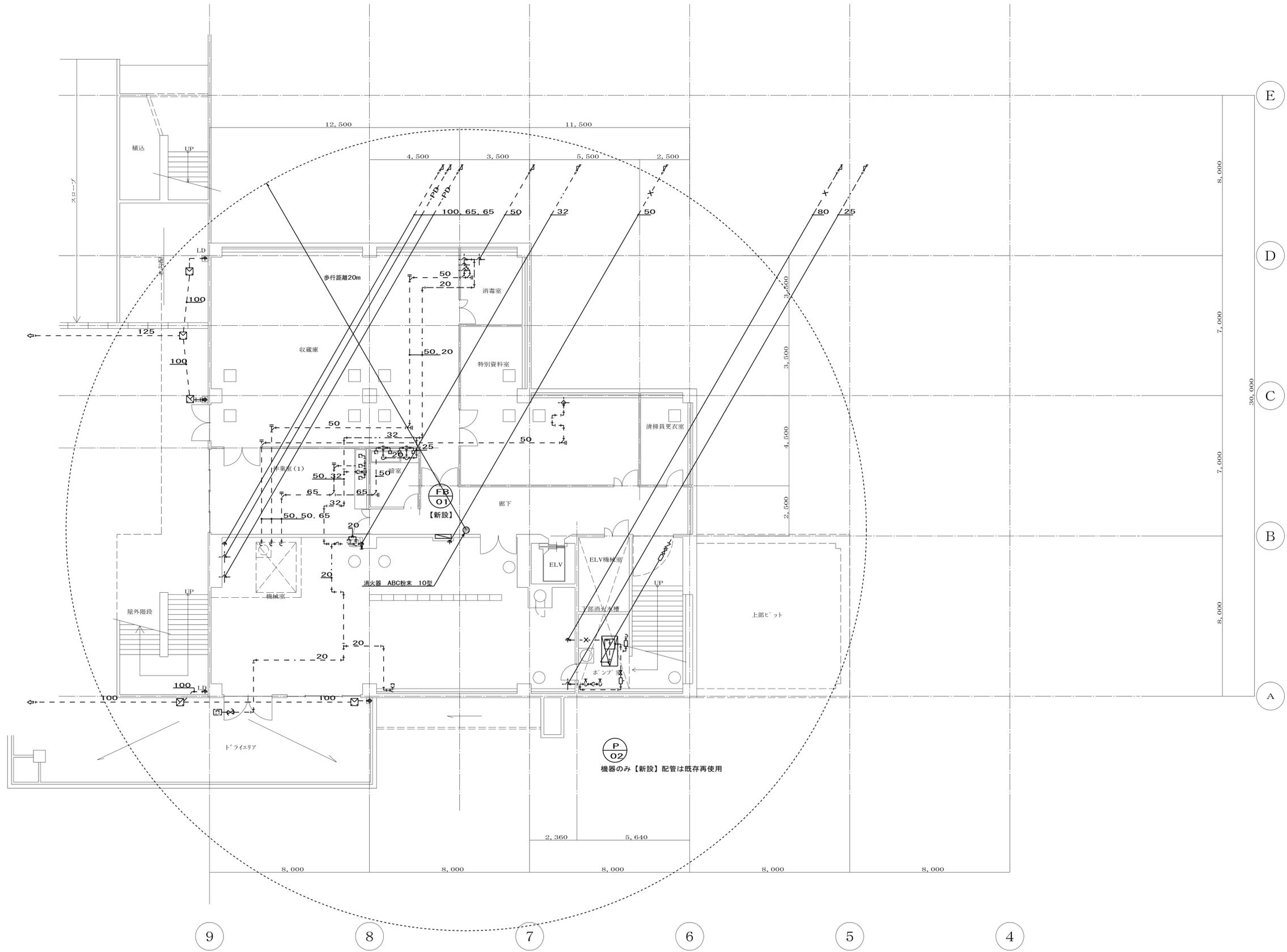
器具名称	摘 要	参考品番	台 数
給水ポンプ P-01	床置タービン型 3φ-200V 7.5kW Φ65×460l/min×36m 自動並列運転、GV、GC、防振基礎共	川本ポンプ KFE65P7.5	2

消火ポンプ

器具名称	摘 要	参考品番	台 数
消火ポンプ P-02	呼水層ユニット型 3φ-200V 7.5kW Φ65×300l/min×53m 起動盤、防振基礎共	川本ポンプ KTK-655CE7.5T	1

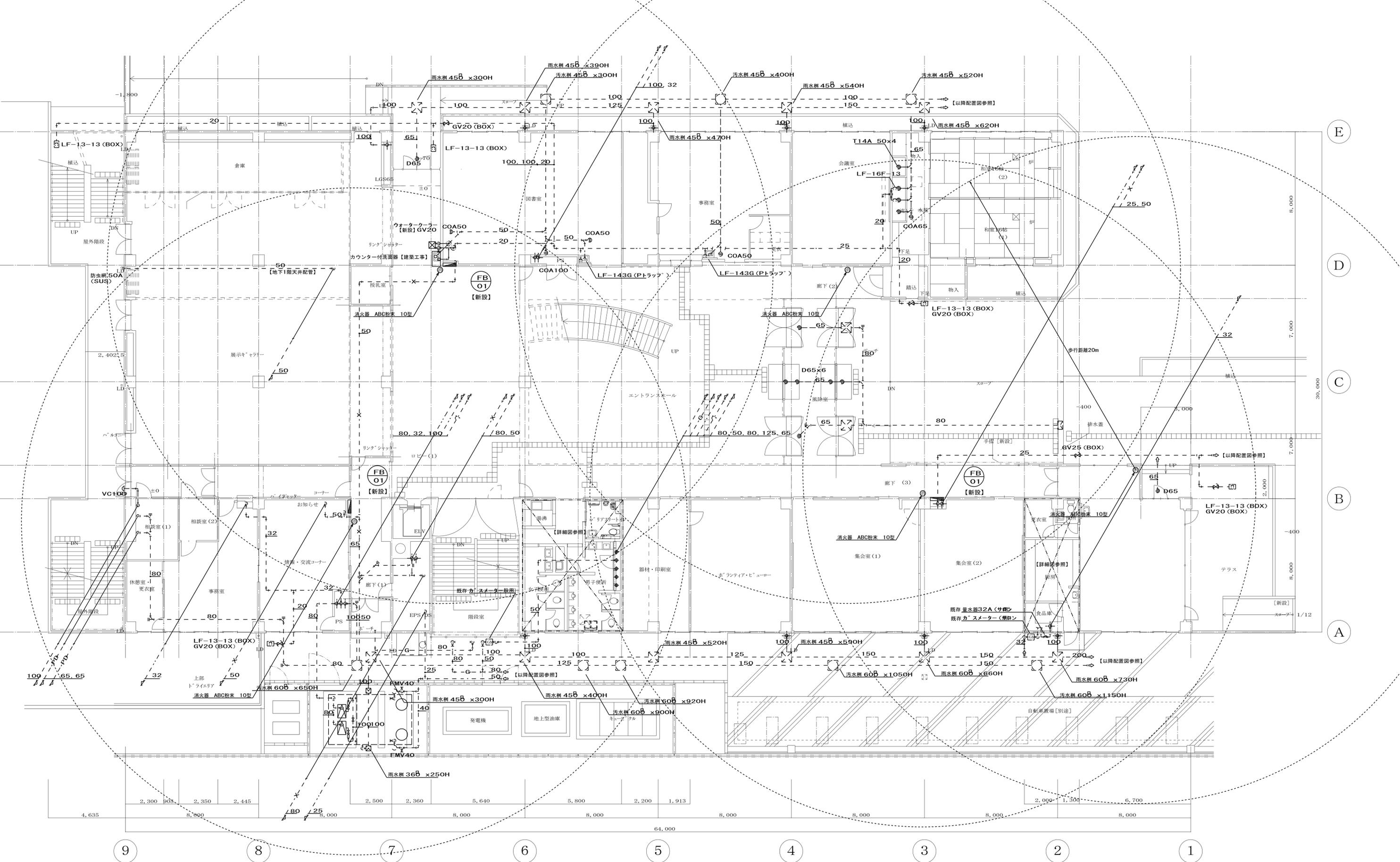
屋内消火栓

器具名称	摘 要	参考品番	台 数
屋内消火栓 FB-1	易操作性1号屋内消火栓	-	8



- 凡例
- 新設配管
 - - - 既存配管
 - 既存機器番号を示す
 - 既存配管に接続を示す

株式会社大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (4) 第9615号 代表取締役 一級建築士 小林弘幸	日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名 中央公民館・コミュニティセンター長寿命化改修工事 図面名 (給排水設備) 地階平面図 (改修図)	縮尺 A1 1/100 M-06-2 A3 1/200 一級建築士 第193004号 大形 一朗

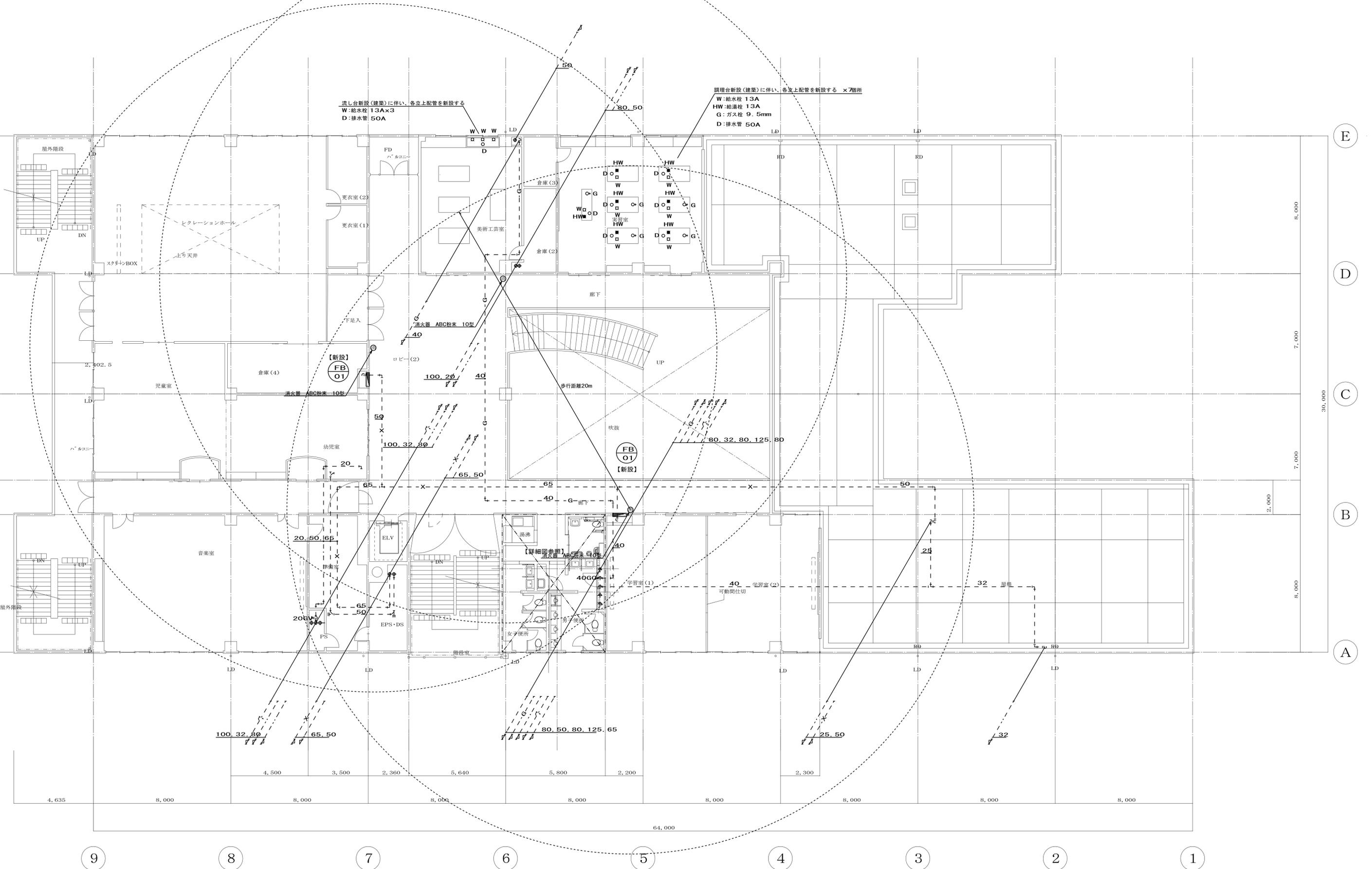


×2
 機器のみ【新設】

【既存】

凡例
 新設配管
 既存配管
 既存配管に接続を示す

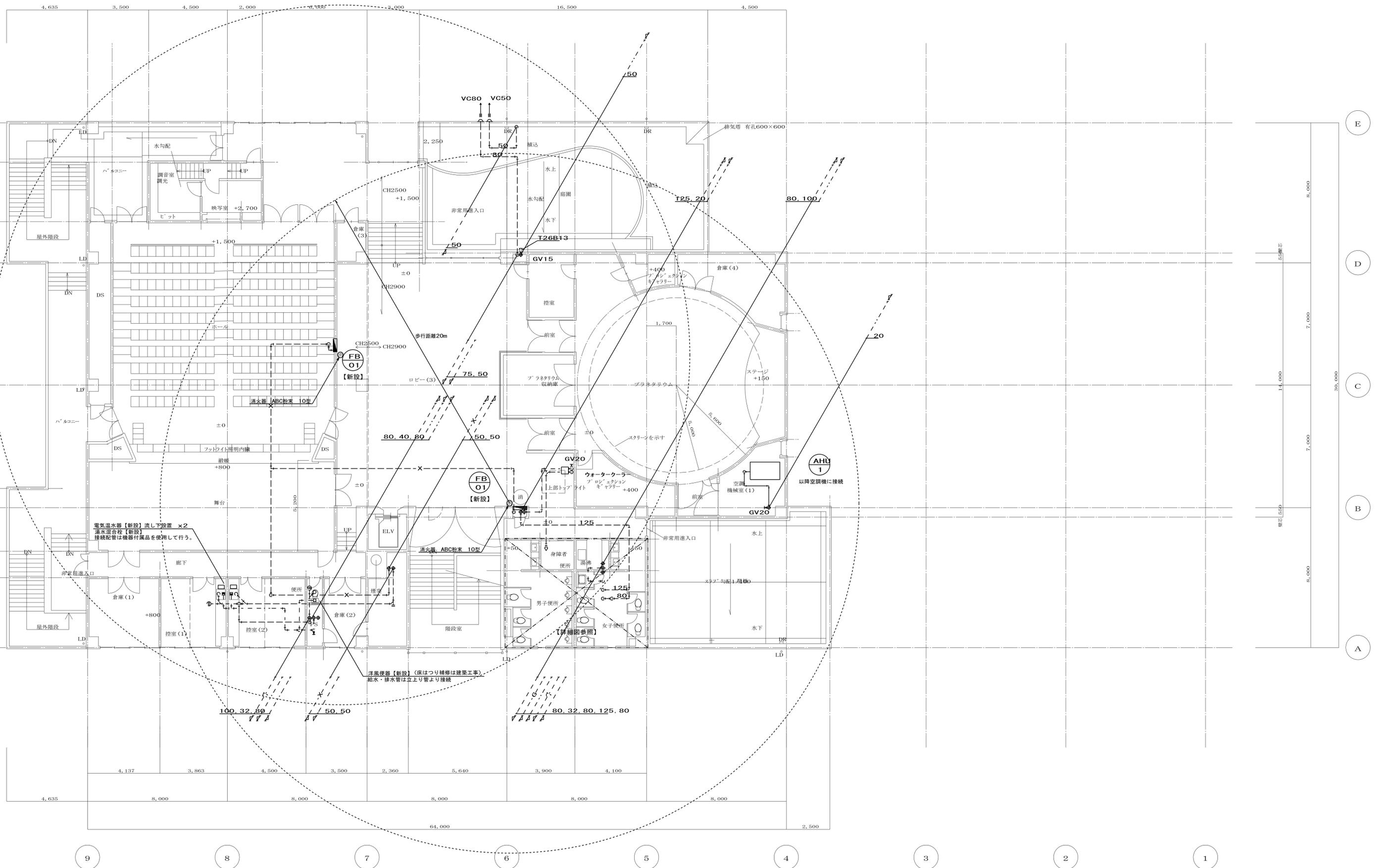
既存機器番号を示す



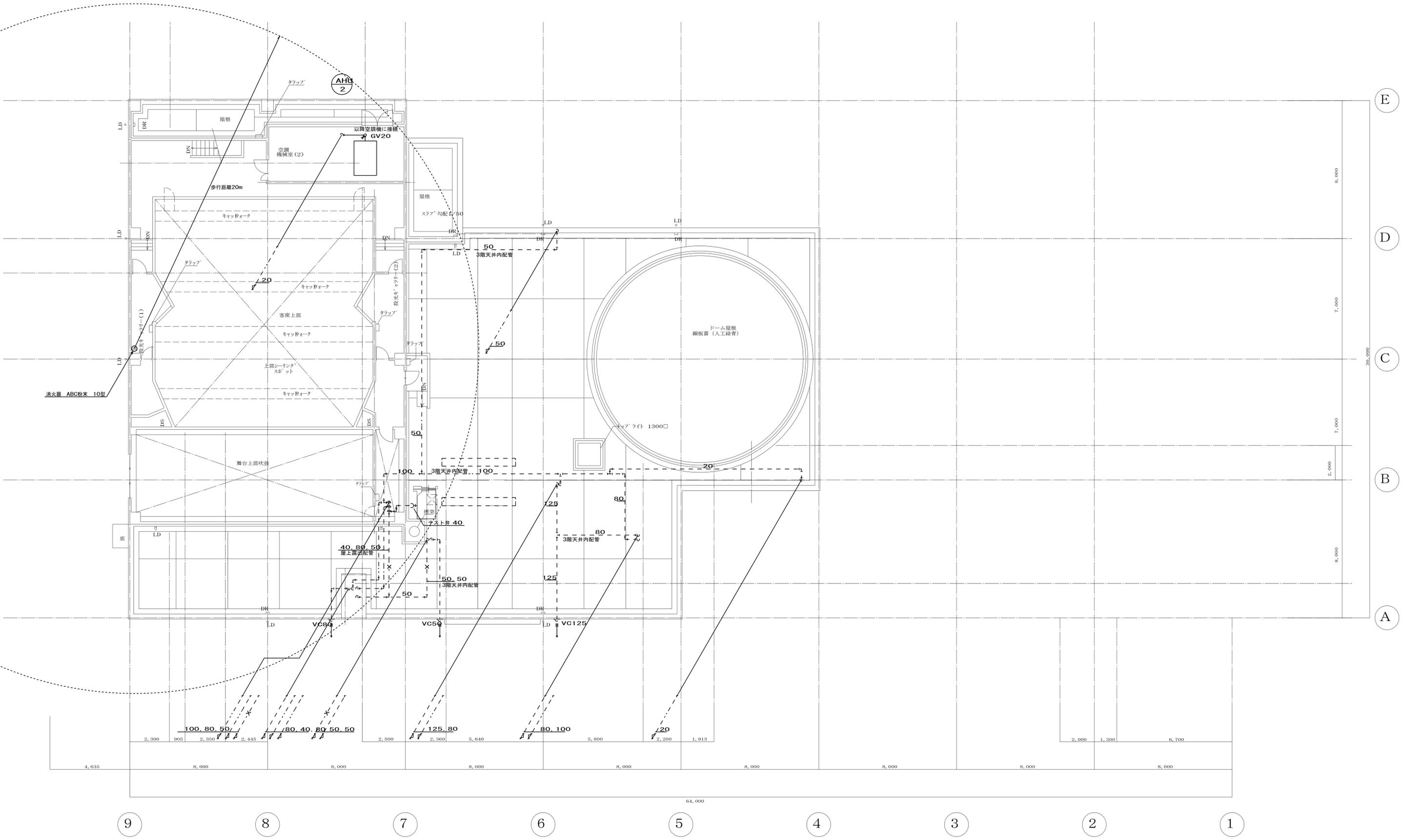
流し台新設(建築)に伴い、各立上配管を新設する
 W:給水栓 13A×3
 D:排水管 50A

調理台新設(建築)に伴い、各立上配管を新設する ×7箇所
 W:給水栓 13A
 HW:給湯栓 13A
 G:ガス栓 9.5mm
 D:排水管 50A

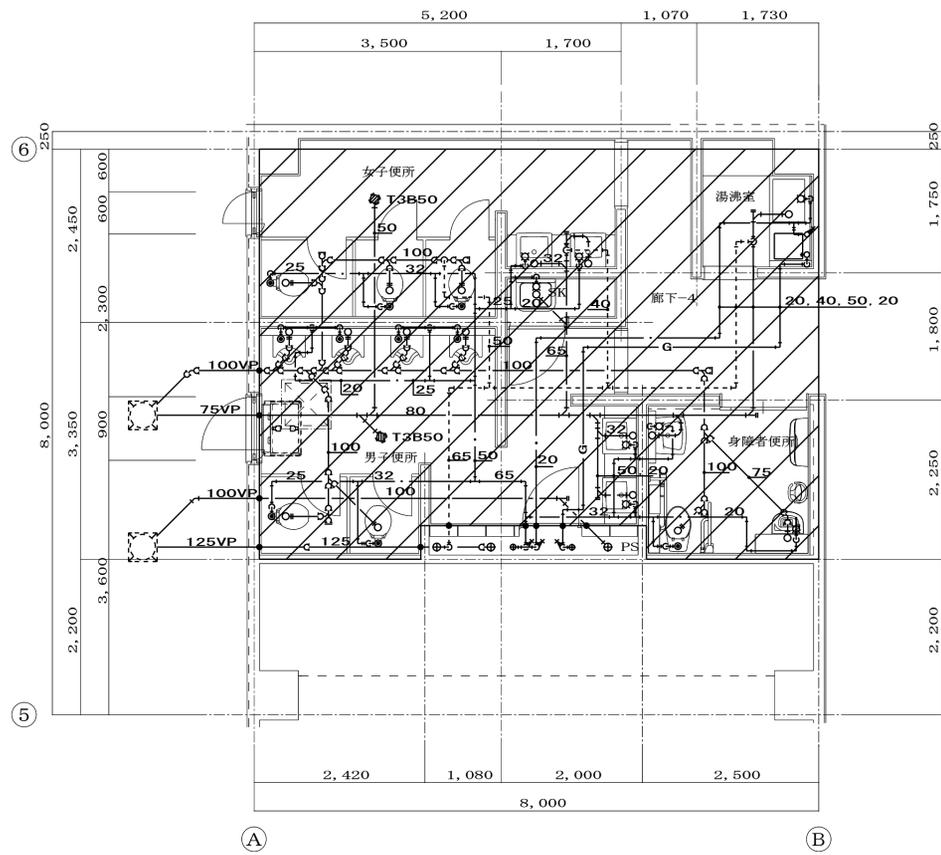
- 凡例
- 新設配管
 - - - 既存配管
 - ⊕ 既存配管に接続を示す



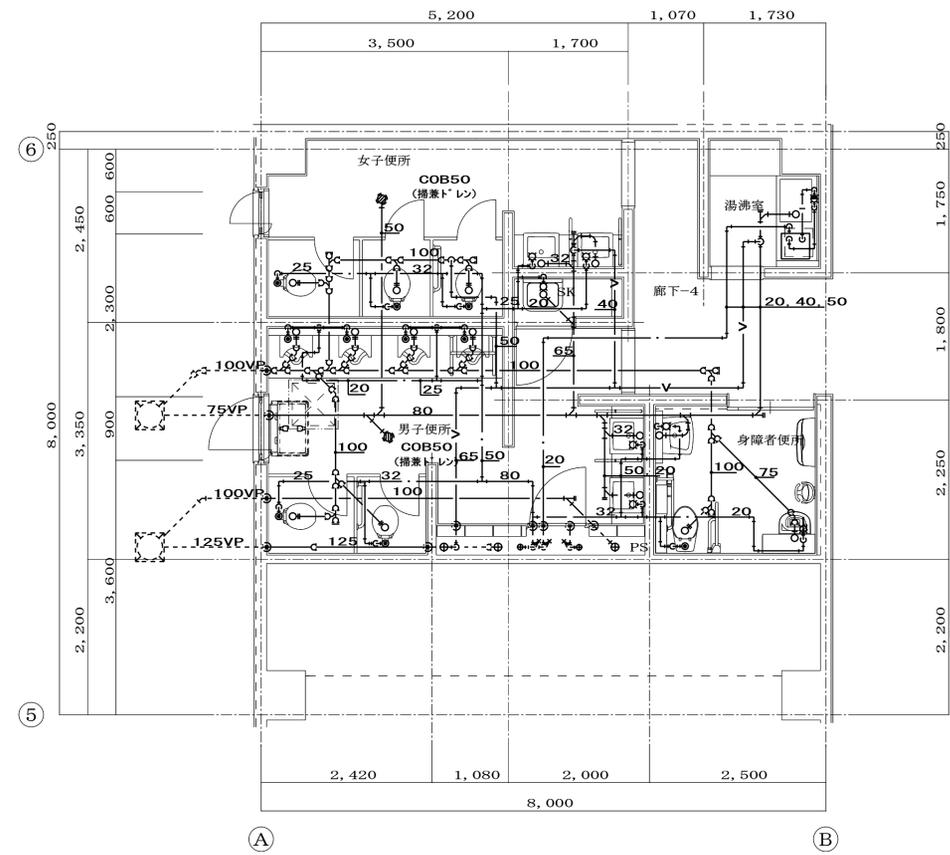
- 凡例
- 新設配管
 - - - 既存配管
 - 既存配管に接続を示す



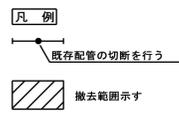
- 凡例
- 新設配管
 - - - 既存配管
 - 既存配管に接続を示す



1階平面詳細図【改修前】 S=1/50



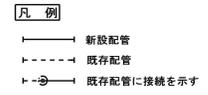
1階平面詳細図【改修後】 S=1/50

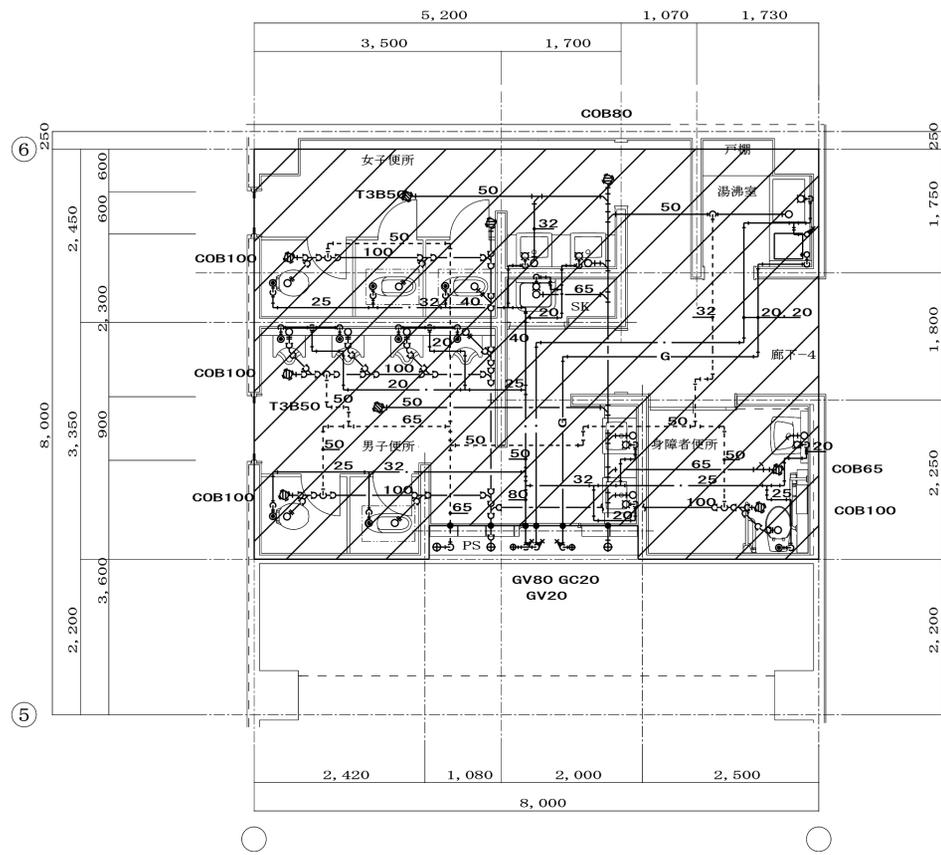


- 改修内容
- 【男子便所・女子便所】
- ・P S内の各立配管は既存のままとする。
 - ・既存洗面器を取外し、再取付は建築工事
 - ・洗面器以外の既存器具を取外し、再取付を行う
 - ・おむつ替え、トイレプースの改修は建築工事
 - ・紙巻器は本工事にて既存撤去後、新設のこと

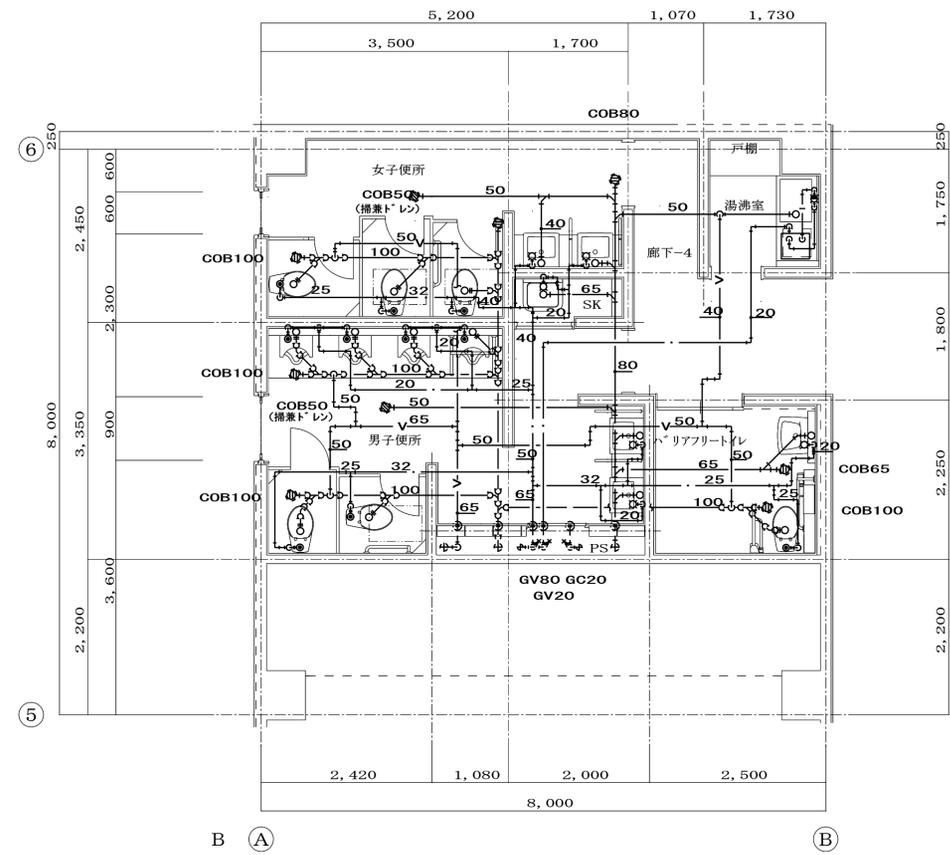
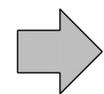
- 【身障者便所】
- ・既存器具は現状のままとする。
 - ・既存器具への接続は床下で既存配管に接続する。

- 【湯沸室】
- ・流し台の撤去、新設は建築工事
 - ・給湯器はガス式を電気式に更新(本工事)
 - ・流し用の水栓は本工事とする
 - ・既存ガス給湯器用のガス栓を撤去。配管はP S内にて既存管を切断し、プラグ止めを施す。

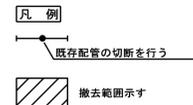




2階平面詳細図【改修前】 S=1/50

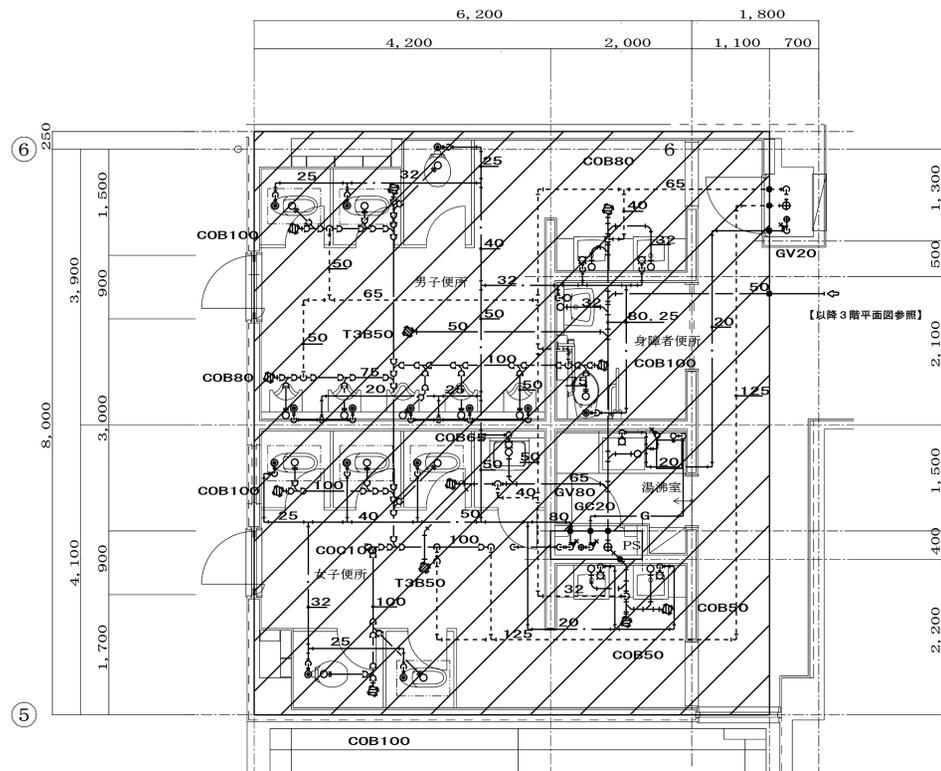


2階平面詳細図【改修後】 S=1/50

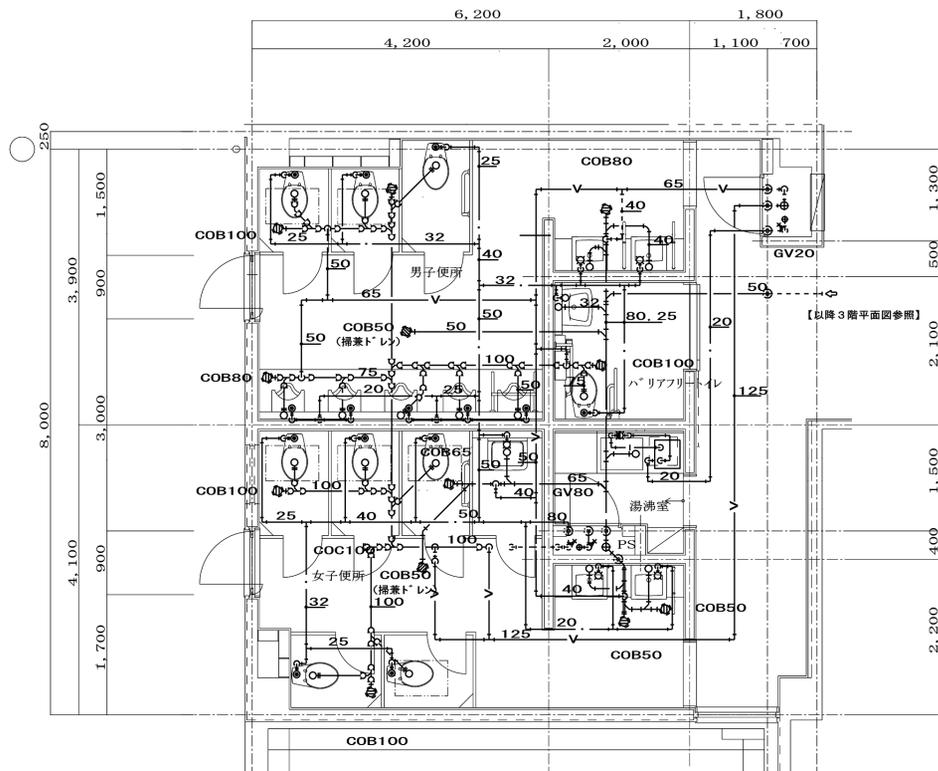
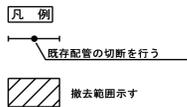


- 改修内容**
- 【男子便所・女子便所】**
- ・P S内の各立配管は既存のままとする。
 - ・既存洗面器を取外し、再取付は建築工事
 - ・洗面器以外の既存器具を撤去し、新設とする。
 - ・おむつ替え、トイレプースの改修は建築工事
 - ・紙巻器は本工事にて既存撤去後、新設のこと
 - ・和風大便器を洋風便器に改修するにあたり、既存床はつり補修は建築工事とする。
- 【身障者便所】**
- ・既存器具を撤去し、新設とする。
- 【湯沸室】**
- ・流し台の撤去、新設は建築工事
 - ・給湯器はガス式を電気式に更新(本工事)
 - ・流し用の水栓は本工事とする
 - ・既存ガス給湯器用のガス栓を撤去。配管はP S内にて既存管を切断し、プラグ止めを施す。





3階平面詳細図【改修前】 S=1/50



3階平面詳細図【改修後】 S=1/50



改修内容

【男子便所・女子便所】

- ・PS内の各立配管は既存のままとする。
- ・既存洗面器を外し、再取付は建築工事
- ・洗面器以外の既存器具を撤去し、新設とする。
- ・おむつ替え、トイレブースの改修は建築工事
- ・紙巻器は本工事にて既存撤去後、新設のこと
- ・和風大便器を洋風便器に改修するにあたり、既存床はつり補修は建築工事とする。

【身障者便所】

- ・既存器具を撤去し、新設とする。

【湯沸室】

- ・流し台の撤去、新設は建築工事
- ・給湯器はガス式を電気式に更新(本工事)
- ・流し用の水栓は本工事とする
- ・既存ガス給湯器用のガス栓を撤去。配管はPS内にて既存管を切断し、プラグ止めを施す。

(新設) ビル用マルチ空調和機 ※天井カセット、天吊形は振れ止めをとること

機器記号	機器名称	型 式	数量	能力		消費電力		電動機出力		電源	集中管理	備 考	参考品番(日立)	設置室
				冷房(kW)	暖房(kW)	冷房(kW)	暖房(kW)	室内(kW)	室外(kW)					
EHF1 外機 73.0	空冷ヒートポンプエアコン (冷暖切替) 室外機	ビル用マルチ R32	1	73.0	82.5	25.5	26.4	-	13.2 ×2	3φ200V	○	防振架台、高調波対策 寸法1600×765×H1755 重量384kg(参考)	RAS-GP730TS	屋外
1-1 CK1 2.2	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット1方向	2	2.2	3.2	0.03	0.02	0.05	-	1φ200V	○	リモコン	RC1S-GP22KA	B1階暗室 B1階清掃員作業室
1-2 CIS 16.0	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	ビルトイン	3	16.0	18.0	0.26	0.26	0.295	-	1φ200V	○	リモコン 吹出口・吸込口ユニット	RCB-GP160KA	1階エントランス
EHF2 外機 73.0	空冷ヒートポンプエアコン (冷暖切替) 室外機	ビル用マルチ R32	1	73.0	82.5	24.0	29.9	-	13.2 ×2	3φ200V	○	防振架台、高調波対策 寸法1600×765×H1755 重量384kg(参考)	RAS-GP730TS	屋外
2-1 CK1 2.2	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット1方向	1	2.2	2.5	0.03	0.02	0.050	-	1φ200V	○	リモコン	RC1S-GP22KA	1階授乳室
2-2 CK4 5.0	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット4方向	3	5.0	5.6	0.05	0.05	0.057	-	1φ200V	○	リモコン	RC1-GP50KA	1階ロビー1
2-3 CIS 16.0	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	ビルトイン	3	16.0	18.0	0.26	0.26	0.295	-	1φ200V	○	リモコン 吹出口・吸込口ユニット	RCB-GP160KA	1階エントランス
EHF3 外機 73.0	空冷ヒートポンプエアコン (冷暖切替) 室外機	ビル用マルチ R32	1	73.0	82.5	24.0	29.9	-	13.2 ×2	3φ200V	○	防振架台、高調波対策 寸法1600×765×H1755 重量384kg(参考)	RAS-GP730TS	屋外
3-1 CK2 4.5	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット2方向	1	4.5	5.0	0.05	0.05	0.057	-	1φ200V	○	リモコン	RC1D-GP45KA	B1階作業室
3-2 CIS 16.0	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	ビルトイン	4	16.0	18.0	0.26	0.26	0.295	-	1φ200V	○	リモコン 吹出口・吸込口ユニット	RCB-GP160KA	1階エントランス
EHF4 外機 90.0	空冷ヒートポンプエアコン (冷暖切替) 室外機	ビル用マルチ R32	1	90.0	100.0	32.5	29.6	-	16.3 12.2	3φ200V	○	防振架台、高調波対策 寸法2180×765×H1755 重量544kg(参考)	RAS-GP900TSX	屋上
4-1 CK2 2.8	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット2方向	2	2.8	3.2	0.03	0.02	0.057	-	1φ200V	○	リモコン	RC1D-GP28KA	2階廊下
4-2 CK2 4.5	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット2方向	2	4.5	5.0	0.05	0.04	0.057	-	1φ200V	○	リモコン	RC1D-GP45KA	2階廊下
4-3 CK4 3.6	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット4方向	3	3.6	4.0	0.04	0.04	0.057	-	1φ200V	○	リモコン	RC1-GP36KA	2階ロビー2
4-4 CK4 7.1	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット4方向	4	7.1	8.0	0.09	0.08	0.057	-	1φ200V	○	リモコン	RC1-GP71KA	音楽室
4-5 CK4 8.0	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット4方向	4	8.0	9.0	0.09	0.08	0.057	-	1φ200V	○	リモコン	RC1-GP80KA	学習室1 学習室2
EHF5 外機 77.5	空冷ヒートポンプエアコン (冷暖切替) 室外機	ビル用マルチ R32	1	77.5	90.0	25.5	26.4	-	14.3 9.32	3φ200V	○	防振架台、高調波対策 寸法2180×765×H1755 重量476kg(参考)	RAS-GP775TS	屋上
5-1 CK4 3.6	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット4方向	2	3.6	4.0	0.04	0.04	0.057	-	1φ200V	○	リモコン	RC1-GP36KA	2階幼児室
5-2 CK4 7.1	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット4方向	4	7.1	8.5	0.09	0.08	0.057	-	1φ200V	○	リモコン	RC1-GP71KA	2階 レクリエーション ホール
5-3 CK4 8.0	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット4方向	2	8.0	9.0	0.09	0.08	0.057	-	1φ200V	○	リモコン	RC1-GP80KA	2階美術工芸室
5-4 CK4 11.2	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット4方向	2	11.2	12.5	0.13	0.12	0.094	-	1φ200V	○	リモコン	RC1-GP112KA	2階児童室
EHF6 外機 73.0	空冷ヒートポンプエアコン (冷暖切替) 室外機	ビル用マルチ R32	1	73.0	82.5	24.0	29.9	-	13.2 ×2	3φ200V	○	防振架台、高調波対策 寸法1600×765×H1755 重量384kg(参考)	RAS-GP730TS	屋上
6-1 CK2 2.8	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット2方向	1	2.8	3.2	0.03	0.02	0.057	-	1φ200V	○	リモコン	RC1D-GP28KA	3階ロビー
6-2 CK4 3.6	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット4方向	2	3.6	4.0	0.04	0.04	0.057	-	1φ200V	○	リモコン	RC1-GP36KA	3階控室1・2
6-3 CK4 8.0	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット4方向	4	8.0	9.0	0.09	0.08	0.057	-	1φ200V	○	リモコン	RC1-GP80KA	3階ロビー
6-4 CK4 14.0	空冷ヒートポンプエアコン 室内機	天井カセット4方向	2	14.0	16.0	0.14	0.13	0.094	-	1φ200V	○	リモコン	RC1-GP140KA	3階ロビー

 株式会社大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (4) 第9615号 代表取締役 一級建築士 小林 弘 幸	日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名	縮尺	A1 NO/SC A3 NO/SC	M-07-1
							中央公民館・コミュニティセンター長寿命化改修工事			図面名 (空調設備)改修機器リスト1

(新設) ビル用マルチ空調和機 ※ 空調機の選定に際しては最高効率機種とし、グリーン購入法適合品とする。

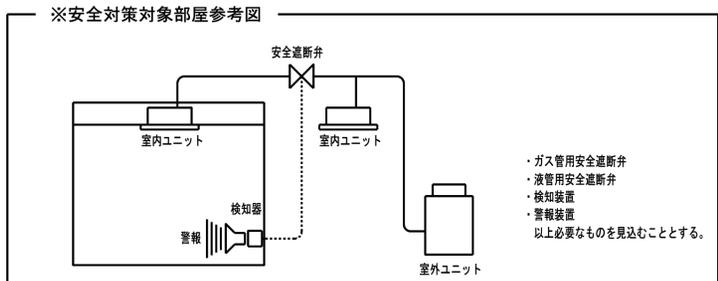
機器記号	機器名称	型式	数量	能力				消費電力	電動機出力 (kW)	APF	電源	集中管理	備考	参考品番 (日立)	設置室
				冷房 (kW)	暖房 (kW)	冷房 (kW)	暖房 (kW)								
ACP1 CK4 11.2	空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調和機 (ツイン)	天井カセット4方向	3	10.0	11.2	2.20	2.43	0.057 ×2 0.07 ×2	7.5	3φ200V	○	緑石ブロック×2、転倒防止金具 (溶融亜鉛メッキ) ワイヤードリモコン共	RCI-GP112RGHP8	1F展示ギャラリー	
ACP2 CK4 14.0	空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調和機 (ツイン)	天井カセット4方向	2	12.5	14.0	2.89	2.88	0.057 ×2 0.07 ×2	6.9	3φ200V	○	緑石ブロック×2、転倒防止金具 (溶融亜鉛メッキ) ワイヤードリモコン共	RCI-GP140RGHP8	1F会議室 1Fポランティアビューロー	
ACP3 CK4 16.0	空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調和機 (ツイン)	天井カセット4方向	3	14.0	16.0	3.03	3.44	0.057 ×2 0.07 ×2	7.0	3φ200V	○	緑石ブロック×2、転倒防止金具 (溶融亜鉛メッキ) ワイヤードリモコン共	RCI-GP160RGHP8	1F事務室 1F図書室	
ACP4 CK4 22.4	空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調和機 (ツイン)	天井カセット4方向	2	20.0	22.4	5.56	5.16	0.094 ×2 0.07 ×2	6.3	3φ200V	○	緑石ブロック×2、転倒防止金具 (溶融亜鉛メッキ) ワイヤードリモコン共	RCI-GP224RGHP5	1F談話室	
ACP5 CR 28.0	空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調和機 (ツイン)	天吊形	1	25.0	28.0	8.20	7.11	0.160 ×2 0.07 ×2	5.0	3φ200V	○	緑石ブロック×2、転倒防止金具 (溶融亜鉛メッキ) ワイヤードリモコン共	RPC-GP280RSHP4	2F実習室	
ACR1 FRL 5.6	空冷ヒートポンプ式 ハウジング形空調和機	床置形	2	5.6	6.7	0.235	0.194	0.057	4.5	1φ200V	○	緑石ブロック×2、転倒防止金具 (溶融亜鉛メッキ) ワイヤレスリモコン共	S56ZVV (ダイキン)	和室	
ACR 1	空冷ヒートポンプ式 ハウジング形空調和機	床置形	2	5.6	6.7	-	-	-	-	1φ200V	○	既存のまま	-	和室	
MAC 1-1	空冷ヒートポンプ式 ビルマル室内機	天井カセット4方向	1	8.0	9.0	0.066	0.053	0.056	-	1φ200V	-	既存のまま	-	女性センター 事務室	
MAC 1-2	空冷ヒートポンプ式 ビルマル室内機	天井カセット4方向	1	7.1	8.0	0.066	0.053	0.056	-	1φ200V	-	既存のまま	-	女性センター 情報・交流コーナー	
MAC 1-3	空冷ヒートポンプ式 ビルマル室内機	天井カセット1方向	3	2.8	3.2	0.051	0.051	0.090	-	1φ200V	-	既存のまま	-	女性センター 相談室(1)、待合スペース 休憩室・更衣室	
MAC 1-4	空冷ヒートポンプ式 ビルマル室内機	天井カセット1方向	1	2.2	2.2	0.036	0.036	0.090	-	1φ200V	-	既存のまま	-	女性センター 相談室(2)	
MAC 1-5	空冷ヒートポンプ式 ビルマル室内機	天井カセット2方向	1	2.2	2.5	0.031	0.028	0.046	-	1φ200V	-	既存のまま	-	女性センター 打合せスペース	

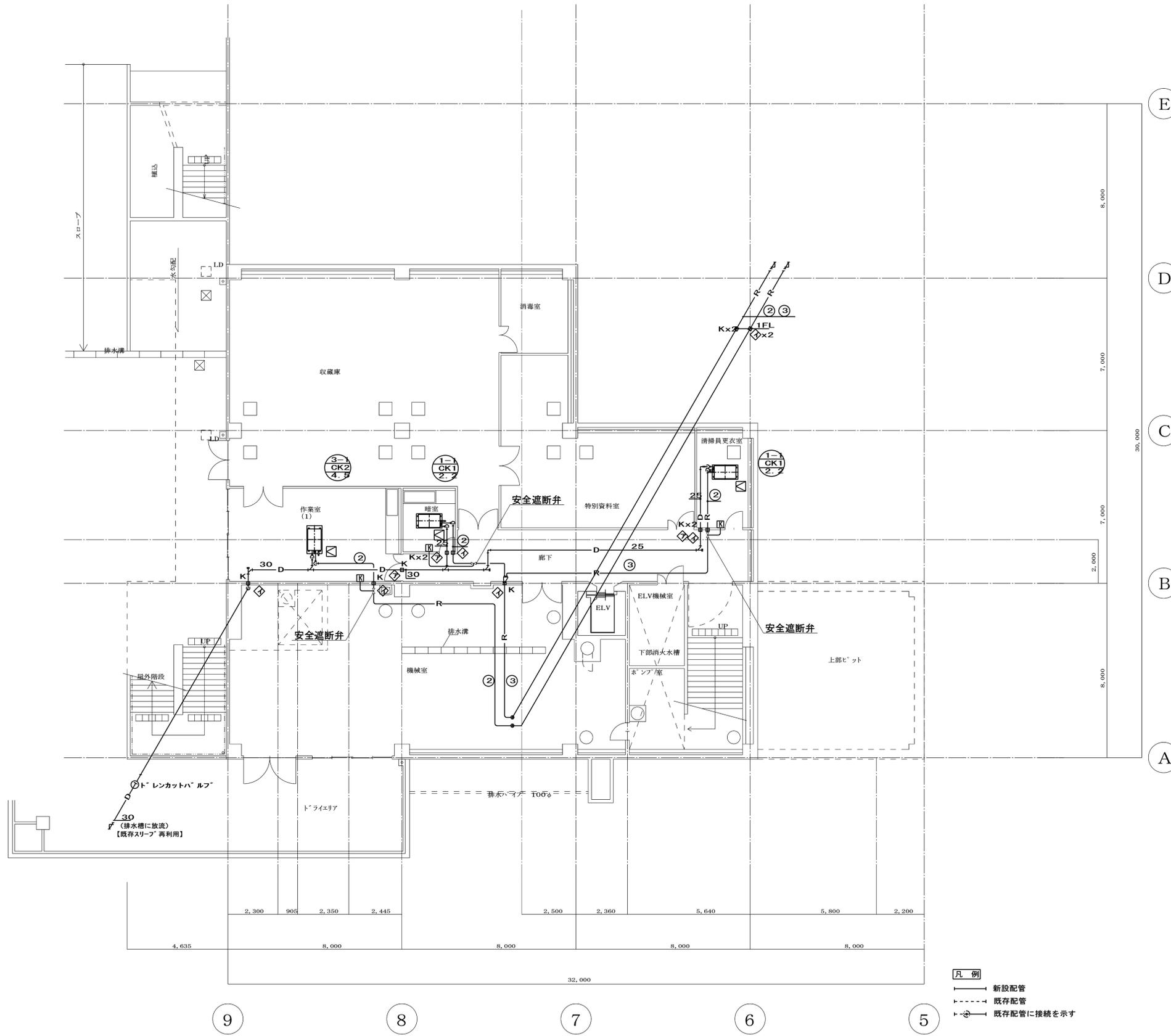
(新設) 集中リモコン

記号	機器名称	電源	台数	摘要	参考品番 (日立)	設置室
集中	集中リモコン	1φ100V	1	監視機能：運転/停止・設定温度・風量・風向 程度 最大ユニット160台 停電復電時自動復帰設定可能タイプ ダイヤモンド制御、アダプター共	HLA32MN1	事務室

(新設) 外機処理空調

機器記号	機器名称	摘要	参考品番 (日立)	台数	設置場所
AHU 1	設備用パッケージエアコン	空冷ヒートポンプ式 床置セパレート・インバーター・オールフレッシュ・ダクト型 冷房能力 (最大) : 80W (100) 暖房能力 (最大) : 75kW (80) 3φ-200V ファン出力 (室内) : 2.2kW 風量 : 133m3/min 機外静圧 (室内) : 274Pa 圧縮機出力 (室外) : (9.46×1) ×2kW ファン出力 (室外) : (0.33×2) ×2kW 寸法 (室内) : W1700×D965×H1850 385kg 寸法 (室外) : W1210×D765×H1675 ×2 263×2kg 防振架台	RP-AP1000CHVFP1 フリーベルト : 1000CHVFP1 [APフーリハンコカ] エアフィルター : 1000CHVFP1 [APNB90%ハイメン] 気化式加湿器 (24kg/h) : 1000CHVFP1B [APキイシツ24]	1	プラネタリウム
AHU 2	設備用パッケージエアコン	空冷ヒートポンプ式 床置セパレート・インバーター・オールフレッシュ・ダクト型 冷房能力 (最大) : 140W (170) 暖房能力 (最大) : 132kW (140) 3φ-200V ファン出力 (室内) : 5.5kW 風量 : 253m3/min 機外静圧 (室内) : 323Pa 圧縮機出力 (室外) : (6.38×2) ×2×9.46kW ファン出力 (室外) : (0.39×2) ×2+ (0.33×2) kW 寸法 (室内) : W2000×D1315×H1850 545kg 寸法 (室外) : (W1210×D765×H1675) ×2 (W1210×D765×H1675) 306kg×2+263kg 防振架台	RP-AP1700CHVFP1 フリーベルト : 1700CHVFP1 [APフーリハンコカ] エアフィルター : 1700CHVFP1 [APNB90%ハイメン] 気化式加湿器 (24kg/h) : 1700CHVFP1B [APキイシツ24]	1	ホール





- 凡例**
- 新設配管
 - - - 既存配管
 - 既存配管に接続を示す

機械はつり補修リスト

記号	サイズ	壁厚
◇	5φ	×200L
◇	7φ	×200L
◇	10φ	×200L

※梁を貫通する場合は既存スリーブを利用して施工のこと。
 ★印：既存スリーブを再利用する。
 機械はつり補修(レントゲン検査の上、位置決定)
 既存スリーブ
 アルミパネル(建築工事)貫通

【冷媒管サイズリスト】

No	ガス管	液管
①	9.52φ	6.35φ
②	12.7φ	6.35φ
③	15.8φ	9.52φ
④	19.05φ	9.52φ
⑤	22.2φ	9.52φ
⑥	25.4φ	9.52φ
⑦	19.05φ	12.7φ
⑧	25.4φ	12.7φ
⑨	28.5φ	12.7φ
⑩	31.75φ	15.8φ
⑪	38.1φ	15.8φ

※ 屋外機と室内機の配線は冷媒管に共巻
 マルチエアコン：EM-CEES 1.25-2C
 セパレートエアコン：EM-EEF 2.0-3C
 検知警報器